

手順書:ろう孔管理関連

16. 膀胱ろうカテーテルの交換(在宅-1)

【特定行為の概要】

医師の指示の下、手順書により、身体所見(ろう孔の破たんの有無、接着部や周囲の皮膚の状態、発熱の有無等)等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、膀胱ろうカテーテルの交換を行う

【対象の患者の状態】

既に交換を最低1回以上済ませている患者で

- ・何らかの原因でカテーテルが抜けてしまった時
- ・何らかの原因でカテーテルが閉塞・破損したと思われる時
- ・定期交換



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- 意識状態、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない
- 瘻孔の出血・感染兆候がない
- 交換前のカテーテルの可動性が良好である
- その他()

範囲外

担当医師に直接連絡し、指示をもらう

範囲内



実施

【特定行為を行うときに確認すべき事項】

- 意識状態、バイタルサインに問題がない
- 交換後の下腹部痛がないか、あっても軽度である
- 交換後のカテーテルからの尿の流出が良好である
- 瘻孔から持続的な出血が認められない
- その他()

当てはまらない事項がある場合は、担当医に直接連絡し指示をもらう



【緊急連絡方法】

日中 ()
休日・夜間 ()



【報告方法】

即日 (電話・事務報告)